

# 総選挙結果 私はこう見る



ピースふくい共同代表

屋敷紘美さん

共闘組織「エースやくい」が誕生（NO-16年4月）したきっかけは、前年9月19日、安保法制・戦争法の強行成立に、国会を取り巻いて抗議する多くの市民から上がった「野党は共闘」の声と、日本共産党的志位和夫委員長がこの声に応えておこなった「戦争法廃止の国民連合政府」構想の提唱でした。田舎は、県内の9条の会や平和センターなど、別々だった運動が

## 共闘 政治文化になった

共同した「戦争法反対」、福井総がかりアクション」で、アクション代表の私がピースマークの共同代表となりました。

今回の総選挙で、共産と金沢寺校さんは小選挙区から出馬を取り下げる重い決断をしていました。二つの小選挙区とも野党が候補者を一本化できましたことは、与野党一対一の対決構図をつくりたし、福井の平和運動がさらに強まる傾向となつたと思ひます。その意味では、大きな意義があつたと考えます。志位さんの提唱は、まさに歴史的な決断だったと思ひます。

長年の運動を土台に発展してきた野党共闘は決して失敗していません。がつかり因つたたかいでは底力が足りなかつ

た。力をつけないとどうかません。

それと、私も選挙中、応援弁士として訴えまし

たが、安曇・菅路線の転換を求める世論が高かつたので、自民・公明批判が先行しましたがあります。国民感情的には必ず政策を訴えてください」と反省しています。

野党が政権を取りたら、このようなと記憶に押しだす。かかるところが教訓です。

若者層で支持を広げるため、県内でも、気候危機打開の問題などで、若い人自身の運動を育む必要があります。

「ピースマーク」内で来年参院選について、共産は候補も含め候補一本化を求める声が普通に出でおり、もう市

田と野党の共闘は「政治文化」になつてほしいと思ひます。

田・公は、野党共闘を「野包」と攻撃しましたが、野党は共通政策合意などの手続きを踏んで候補者を出しました。自・公は、給付金政策のすり合わせを選挙後にやつてゐるあります。「野合」の議葉はそいつ彼らで、お返ししたこと。

衆議院は「割が改憲勢力で占められた、日本維新安価派もども、国会が危険な状況です。戦争法に反対し、憲法を守る運動を再構築する必要があります。

党の先駆役となる一方、私たちも勝つまで、たたかう。戦争法を廃止し、憲法を守るために、たたかい続けます。

共闘した「戦争法反対」  
福井総がかりアクション  
ン」で、アクション代表  
の私がピースマークの共  
同代表ともなりました。  
今回の総選挙で、共産  
党と金井赳枝さんは小  
選挙区から出馬を取り下  
げの重い決断をしてもら  
いました。「176の小選挙  
区とも野党が候補者を」  
本化されたりとは、与野  
党一対一の対決構図をつ  
くりたじ、福井の平和運  
動がどうと強まるにふり  
もなったと感じます。そ  
の意味では、大きな意義  
があつたと考えます。志  
位さんの提唱は、まさに  
歴史的な決断だったと思  
います。

それと、私も選挙中、応援弁士として訴えましたが、安倍・菅路線の主張を求める世論が高かったので、自民・公明批判が先行したきらいがあります。国民感情的には、まず政策を訴えるべきだったと反省しています。野党が政権を取つたら、いわゆる「前回」に押し出し、かかげてくる政策をきかれて話題になると、普通に出ておらず、もう少しそうした訓練です。

若者層で支持を広げたため、県内でも、気候危機打開の問題などで、若い人自身の運動を蓄む必要があります。

臣と野党の共闘は“政治文化”になつてゐると思ひます。

▲・公は、野党共闘を「野合」と攻撃しましたが、野党は共通政策合意などの手続きを踏んで候補者を出しました。自公は、給付金政策のやり合わせを選挙後にやつてしまひました。「野合」の結果はそつと彼からお返ししたい。

衆議院は一割が改憲勢力で占められ、日本維新の余と国民党が自民党の先頭役となる一方、安価派もできて、国会が危険な状況です。戦争法に反対し、憲法を守る運動を再構築する必要があります。

▲ 私たちは勝つまで、たたかう。戦争法を廃止し、憲法を守るために、たたかい続けます。